



EDLSC 准教授 Peter ROUX

- ・ 専門分野：
教育テクノロジー
- ・ 科目：
スタディスキル・アカデミック
ライティング (SSAW)
ピアリーダートレーニング入門
ピアリーダートレーニング I

2021年5月時点

Tips

1. 授業の内容や教材を準備する際に、常に最新の情報を入手する。
2. 様々な学習アクティビティやオンラインアプリを活用し、刺激的で魅力的な環境を構築する。
3. 授業内容を理解しているか、授業前、授業中、授業後に学習者と対話を続け

Q: 担当している授業の中で、一番計画を立てている授業はどの授業ですか？

A: SSAW とピアリーダートレーニング授業の準備について、同じくらいの時間をかけるようにしています。チームワークに焦点を当てているピアリーダートレーニング研修では、学生の成長や発達について多く考えています。そのため、このコースでは、**チームワークのプロセスを促進するための準備を通じて、生徒が参加、関与し、コミュニケーションを取れることに重点を置いています。**一方、アカデミック・ライティング・スキルの育成に焦点を当てている SSAW でもチームワークを促進しようとしています。アカデミック・ライティング・スキルの発展という

好奇心旺盛な学生たちを見ていたら、とても嬉しいです。自分がどんなスキルや知識を身につけたいのか、考え始めたという意味だと思うからです。そのため、学生の成長と教育の質を確保するためには、まず学生のモチベーションを考慮することが重要です。さらに、私の授業はチームワークを通じた学生の成長に焦点を当てているため、各授業にはそれぞれの個性と学びの旅があります。この独特な学習の旅が発展していく姿を見始めたらいつも心がワクワクします。なぜなら、各授業のニーズは微妙に異なるため、クラスの目的も時間の経過とともに変化していくからです。

また、クラスの関係には、先生と学生の2つの側面があります。私は先生として、

具体的な目標を中心として準備しています。そのため、このコースでは、**具体的な成果を伴う学習目標**を準備しなければなりません。例えば、学生にどのようなスキルを身につけてもらい、どのようにライティングや問題解決のスキルを向上させ、また学生が現在持っているスキルを向上させることにも役立つ知識を伝授することが必要です。

Q: 学生の学びの質を高めるために、どのような工夫をされていますか？

A: まずは、**学生たちがなぜこの授業を受講したいと思っているのか考えること**から始めています。学生たちは何らかのモチベーションを持って、授業に参加しているということです。私の授業で熱心で

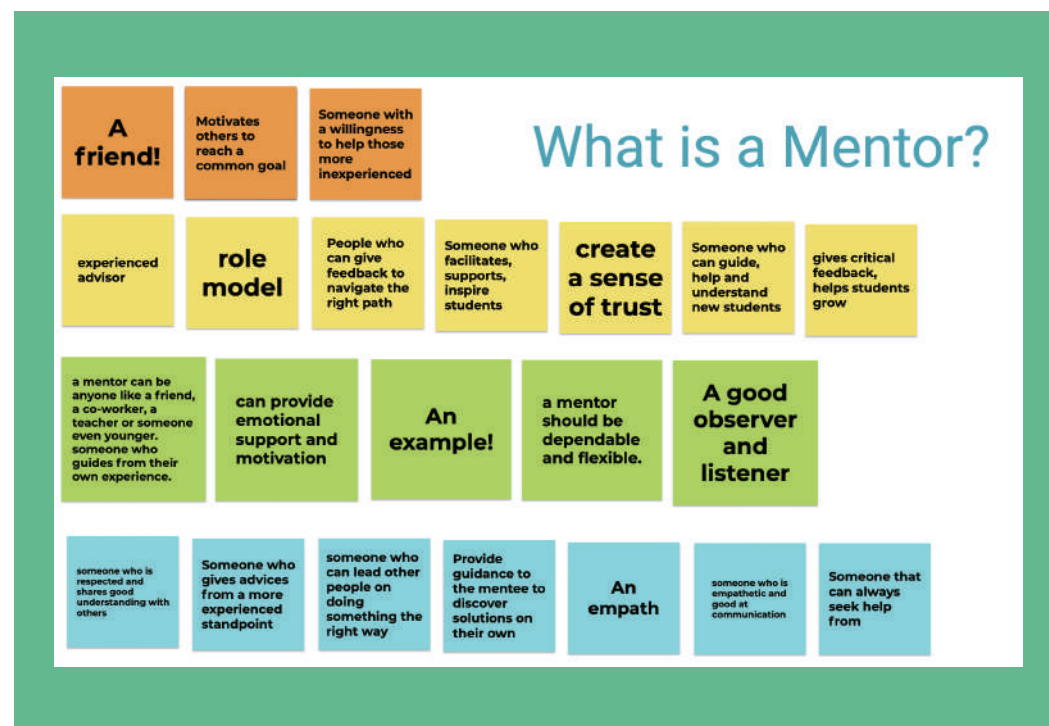
常に新しい知識や教育界の状況とその発展について最新の情報を得ることを自分自身に要求しています。そのため、授業の準備をする際には、**常に授業をアップデートし、質を向上させることに心がけています。**学生たちが何を聞いたがっているのか、何を話し合っているのか、何に興味を持っているのかを確認し、その興味やテーマを授業に結びつけるようにしています。このように、**準備は発展のためのマインドセット**だと考えています。授業の中では、各授業を振り返り、学習内容や、さらに勉強したい内容などを学生たちに聞いています。毎週この過程を行うことで、学生たちのニーズや発展を知ることができます。

Q: 学生の学習意欲を高めるために、どのような工夫をされていますか？

A: 元学生として、せっかく登録した授業が途中で挫折してしまった経験があります。この場合、私は学生に、なぜこの授業を登録したのか、当初の気持ちや目標は何だったのかと自問することを提案しています。また、失望に直面した時も、その目標に向かって努力を続けるためにはどうしたらいいのか自問することもできます：もしかしたら、失望そのものが人生の教訓になるかもしれません。ペルシャの作家、ルーミーの名言によると、人間の魂は家のようなもので、そこに入ってくるすべての感情や経験は、家の中の客人のように扱わなければならないが、それは客人であり、すぐに帰ってしまう

ことを忘れてはいけません。私は人生でどんな困難な経験をして、いつもこの概念に立ち返り、学生たちにも、浮き沈みの激しい時にモチベーションを維持するため、それぞれの経験をゲストとして扱うようアドバイスしています。

また、学生が自分の日常的な経験について考える機会を設け、それをコース資料に反映させるような活動を企画するよう、努力しています。そして、私のピアリーダーシップクラスでは、毎週異なるテーマを設定し、そのテーマに基づいたブレイクアウトセッション活動を行います。これらの活動は通常、異なるタイプの個人能力に基づいて行われます。例えば、その週のテーマが「時間管理」であれば、ブレイクアウトのルームにいる学生たち



Learning Path Check 3 - SSAW SP21

To track your participation & progress in this course

Hi ROLUX Petrus Willem, when you submit this form, the owner will be able to see your name and email address.

* Required

4. I can access the APU style guide, APA style guide and Library workshop information on Manaba * (1 Point)

Yes

No

I have not tried it yet

I need help with access

5. I made notes about the course goals, and have made a timeline with submission dates for my assignments * (1 Point)

Yes

Not yet

I am not sure what the goals & submission dates are

は、その週のスケジュールを立て、その上で自分がどのように時間管理をしているかを他の学生たちと一緒に分析を行います。

Q:2020年の春セメスターからオンライン授業になりましたが、そのために、どのようなことを変えましたか？

A: 楽にコミュニケーションを取れる対面授業になれている私たちにとって、オンライン授業を行うことは本当に難しかったです。教室では、学生たちの距離が近いので、会話や情報交換がしやすかったです。オンライン授業の課題は、適切なセットアップを行うことでした。Zoom、WebEx、Manabaのようなオンライン学習管理システムなどの技術支援システム

が、コミュニケーションの橋となっています。しかし、これらの橋は、インターネット接続が不安定だったり、学生がいる時間帯が違っていたりすることでの通信障害を防ぐために多くの時間と労力を必要とします。授業内容をこのようなオンライン形式に合わせることも重要です。例えば、教室でのゲームを通じた学習を信じており、私の授業では学生たちがグループで責任感や包括性などのリーダーシップの側面を選択し、クラスメートに選択したテーマについてためのミニ講義を企画する活動を行っています。そして、発表するグループには、クラスメートや自分自身に対するテーマの理解度をテストしたり、挑戦したりするために Kahoot、Zoom Poll、PowerPointなどのゲーム形式を使うことを勧めしています。

このようにゲームを取り入れたプレゼンテーションを通じて、学生たちは復習が単調ではなく、自分が何を学んだのか、発表の目的が何だったのかを思い出し、オンライン授業に集中する動機を高めることができると思っています。私はいつも、学生たちの理解をさらに確認するために、その授業中に学んだことを10分から15分ほど振り返って、これらの活動を終わらせるようにしています。

Q: 授業内容を改善する時に、どのようなステップで改善が行われていますか？

SSAW コースでは、エッセイで期待される書き方の例を見られるように、モデルエッセイの貯蔵所作り、学生たちがアク

セスできるようにしました。います。また、現実世界の問題に根ざした特定のトピックを用意して、学生がエッセイを書ききっかけを作るようにしています。例えば、SSAW を担当する担当教授陣は、現在の地球規模の問題に関する広範囲なテーマを扱う17の国連持続可能な開発目標(SDGs)を使用することを選択し、このように幅広く関連性のあるトピックを選ぶことにこれまで成功してきました。また、私たちは学生が自分で興味のあるテーマを選択できるシステムも開発しています。この方法を通じて、参加者全員がこのテーマの中のどこかで自分の情熱を見つけることができます。

ピアリーダーシップトレーニングのよう

Peter ROUX 先生とピアリーダーシップトレーニングの学生たち



な授業では、学生たちが実践を通じて学ぶことができる活動をするように努力しています。例えば、ある授業では、映画分析を通してリーダーシップにおける力関係を探りました。グループごとにリストから映画を選んで鑑賞し、授業で配布した包括的なリーダーシップワークシートに基づいて、ストーリーや登場人物に描かれた力関係の観点から映画を分析しました。この分析後、学生たちは情報グラフを作成し、後の講義で参照できるように分析結果をまとめました。

Q: 先生が教育をおこなう中で大切にしていることは何ですか？

A: 私自身の学習者としての経験から言うと、教育の過程で最も重要な点の一つは

姿勢です。人生のあらゆる面において、姿勢はその経験とそこから何を学ぶかを形成します。そのような姿勢であれば、良い結果を得る可能性は非常に高いです。しかし、「疲れているし、できるかどうか自信がない」「ちょっと気分が落ち込んでいる」といった心構えで臨むと、その心構えが学習の障害となってしまいます。教育とは、授業から学ぶことだけでなく、生活の中での経験から学ぶことでもあるのです。

Q: 授業を受ける学生に期待することは何かありますか？

A: 私は良い態度を取ることが最初だと思っています。私のもう一つの希望は学生たちが好奇心を持ち続けることです。

もし学生が自分を疑ったり、興味を失ったりしていると感じたら、それは教育の中での浮き沈みの一部として受け入れられます。私は、仲間や教授、友人、家族に相談し、コミュニケーションを取り続けることをお勧めします。なかなか心を開いてくれないナイキな学生には、考えや感情を書き留めることも、このようなコミュニケーションのための戦略だと思います。私は、学生たちが完璧であったり、偉大な達成者であったりすることを期待しているわけではありません。しかし、達成感はその人の人生のある時点で、彼らだけの方法で到達すると思います。しかし、オープンマインドを持ち、学習経験の中で浮き沈みの両方に直面しても意欲的であり続けることが、すべての違いを生み出します。

インタビューの感想

前学期にピアリーダーシップトレーニング2を受講したことで、ピアリーダーシップトレーニングのような、学生が主体的に取り組むことで結果が左右されるような授業では、どのような準備が行われているのか、その裏側を知ることができとても興味深かったです。Roux 教授とのインタビューで、このような授業にはいかに綿密な準備（どれほどの深い準備）が必要で、単に資料を用意するだけでは不十分であることがわかりました。むしろ、学生たちが自ら挑戦し、人とのつながりを作ることができる積極的な学習環境を作り、その授業で約束された必要なスキルを身につける必要があります。

インタビューアー



名前：パネルジースラグナ

学部：APS (CSM)

出身：インド

メッセージ：こんにちは。私は 2022 年度秋の Sulagna クラスで、文化・メディア・社会を専攻しています。趣味は、アニメを見たり漫画を読んだりすることです。私は 2019 年度秋から ALRCS と ProjectQ に参加しています。ProjectQ に参加したことで、APU の先生方に対する理解が深まり、新たな感謝の気持ちが生まれました。先生方は学生のために多くの努力を費やし教材を作ってくださいしているので、学生と先生方のために、私たちの記事が APU における学びの質の向上に少しでも役立つことを願っています。

記事翻訳：CHOI Eunkyong

「Q」とは

APU で素晴らしい授業を行っている先生方はたくさんいらっしゃいますが、先生方が授業中にどのような工夫をしているのか知ることが出来れば、他の先生の授業改善にも役立つ。そのために、インタビューをして授業の工夫を教えてください、ということで始めた取り組みです。この記事は、授業の「Quality=質」を高める、質を高めるための「Question=問」に答える、授業改善の「Queue=列」をなす、など、色々な意味を込めて「Q」と名付けました。先生方の授業の質向上の「Quest」に役立てられると幸いです。

